

沼田と利根町はいつ完了するのか



先々週につづいて6月議会での井之川博幸議員の一般質問の内容を報告します。井之川議員は、環境問題にも関連し、都市基盤整備の大きな柱である「汚水処理事業計画」について、まず下水道・農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置の計画と現状について、また、今後の計画推進と完了目標年度について市の方針を質しました。

井之川博幸市議 市長は、「公共下水道は、認可区域面積829haのうち整備率約80%、水洗化率97%、農業集落排水事業は、事業実施3地区は完了し、合併浄化槽設置については1,316基の補助を行なっている。(公共下水道の)完了目標年度は、事業計画では平成38年度となっている」と述べましたが、合併浄化槽地域の完了時期は答えませんでした。井之川議員は、市が公共下水道を計画している区域は836haで現在の認可面積は829ha、残りの7haの認可申請についてはどうするのかを質するとともに、第1・第2処分区では、認可面積81haに対し整備は数%しか進んでいない。認可区域でも実際に20年後、30年後になるかもしれない地域では、合併浄化槽の補助が受けられるようにするべきではないかと要求しました。

下水道認可区域などでも合併浄化槽補助を検討

市長は、「公共下水道区域内でも、工事計画の見通しがたたない地域においては、合併浄化槽設置への補助を検討しなければならない」と答えました。

県の浄化槽エコ補助金をただちに市民に知らせて

井之川議員は、群馬県が、くみ取り槽や単独槽から「合併浄化槽に転換する場合『浄化槽エコ補助金』10万円を上乗せ」してくれる事業の内容が、市のホームページの説明に載っていないことを指摘し、ただちに乗せろと要求しました。

建設部長は、「6月議会に浄化槽設置補助金を補正予算として提案しているので、可決後に載せていきたい」と答えました。

憲法を生かし、政治を変えよう

ぐんま県民集会に1300人!



ステージで要求を訴える各分野代表

6・23ぐんま県民集会が高崎城址公園で開催され、憲法改悪ストップ! TPP交渉参加を撤回せよ! 消費税10%への増税の中止を! など、集会がかかげる「9つの要求」で各分野の代表がリレートークをしました。利根沼田から大型バスなどで約50人が参加するなど約1,300人が参加

し、集会後、高崎中心街をデモ行進しました。

総投資額72億円、交付金は11.9億円

利根中央病院新病院建設計画

6月21日、ホテルベラヴィータにおいて利根保健生協第37回通常総代会が開催され、2012年度の事業報告及び決算や2013年度の事業計画及び予算など7議案が審議されました。

第3号議案の新病院建設計画承認の件では、国の「医療施設耐震化臨時特例交付金」を取り入れ、最大11億9千万円の「耐震化臨時交付金」を予算に組み入れること。また、そのことに伴って、病床1割削減の条件を承諾することや新設備の追加や建設資材の高騰の影響など、新病院建設計画の大きな変更が報告され、承認されました。

具体的には、耐震化臨時交付金11億9千万円が受けられること。病床数が282床から253床に、総床面積が21,100平方mから20,192平方mに減少すること。総投資額が約68億円から約72億円に増額されることなどです。



総代会であいさつする山田理事長

2013年6月30日	No.662
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	